



# こんにちは日本共産党です 八千代市議団ニュース

堀口明子 ☎047-767-5030

伊原 忠 ☎047-488-7207

飯川英樹 ☎080-1239-8132

日本共産党八千代市議団メール：[kyousan@jcp-yachiyo.jp](mailto:kyousan@jcp-yachiyo.jp)

日本共産党  
八千代市議団  
ホームページ

<https://jcp-yachiyo.jp>



第645号

2024年8月19日

発行

日本共産党

八千代市議会議員団

八千代市大和田新田

312-5

## 暑い夏、戦争と平和について考える機会に

8月になると「戦争」や「平和」を題材にしたテレビ番組などが増えています。八千代市でも8月6日の広島原爆投下時に黙祷をし、被爆体験講話を聞き、献花をします。(黙祷と献花の集い)

また、「八千代平和事業」として映画「ひろしま」が9月8日に勝田台文化センターホールで上映が予定されています。

終戦記念日の8月15日前後の日は、どのチャンネルでも戦争に関する番組が放映されていました。しかし年々、「戦争を体験した語りべ」が少なくなっていることや気づかないうちに「戦争の足音が近づいてきている」ことに不安の声が広がっています。

日本共産党は、憲法9条に基づく平和な日本のために全力を尽くす決意です。



献花後の平和記念碑  
(8月6日、市民会館前)

## 千葉市での取り組みに学び、原爆写真展や講話の推進を

千葉市では戦争の悲惨さや平和の尊さを伝えるために「千葉空襲写真パネル展」を市役所や区役所だけでなく、商業施設でも行なっています。(6月29日～8月29日 お問い合わせ 千葉市役所市民総務課 043-245-5156) さらに「空襲パネル」だけでなく「原爆写真」「紛争と難民」などのパネル展示や戦災資料に折り鶴など様々見ることができます。「こうした他市の事例をもっと八千代市でも広げていきたい」と思います。

## 八千代市での被爆体験の講話をもっと広げましょう

また、終戦から79年が経っていることで、被爆体験者、戦争の体験者の声がなかなか聞くことができなくなっています。八千代市ではホームページから3人の講話を動画で見ることができます。(八千代市役所企画部シティプロモーション課国際班 047-421-6703)

3名の方は市内の小中学校で被爆体験講話を実施しています。なかでも勝田台ステーションギャラリーで市民団体の方が原爆写真展を展示した際には、講話をしてかれている方も参加しお話をしてくれています。

八千代市は市民団体の方々や商業施設などと協力して「戦争の悲惨さ」「平和の尊さ」を広く伝えていくべきではないでしょうか。

## 武力対武力でなく、対話による平和外交を

世界各地でおこっている戦争、紛争の終結のために日本ができることは、「武力対武力では戦争は終わらない」だからこそ話し合う外交で平和の声を届けていくことではないでしょうか。

日本共産党は平和の声を広げていくとともに唯一の被爆国として核兵器禁止条約へ日本も署名・批准することを求めています。